

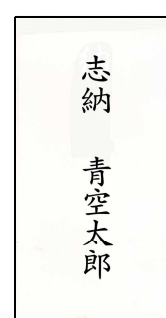
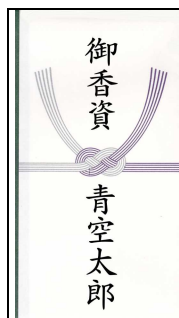
## 香奠（香典）にまつわる話し

先日友人から電話で、今日世話になった方の葬儀にお参りに行くのですが、香奠袋の表書きにはなんて書いたらいいのですか？と相談を受けました。

こうした相談を受けることは良くあります。婦人会の座談会の席上でもこのことが話題になり、ある会員さんが通夜、葬儀の時は「御霊前」と書いて、四十九日法要（満中陰法要）からは「御仏前」と書くのよと教えられてきましたと言われました。一般的にはそのような書き方をされているようですが、私は両方ともどうかと思います。

神式の葬儀では焼香をせずに玉串(サカキのこと)を捧げますので「玉串料」と書かれますし、キリスト教式の葬儀では焼香は行わず献花を行いますので「お花料」と書かれるようです。仏式では必ず焼香を行います。本来使用するお香は自分で用意するものなのです。しかしたいは先方がご用意くださったお香を使用させていただきお焼香をいたしますので「香資」とか「香儀」と書かれることが良いと思います。そして忘れてはならないことは香資は“ふくさ”に包んで持参し、先方にお渡しする時はふくさから取り出して両手で差し出すようにします。また、大切なことは通夜、葬儀に限らず仏事の時は必ずお念珠をお手にしてお参りなさるようにして下さい。

ちなみに葬儀や法事をつとめられて僧侶にお礼を包む表書きになかには「御経料」と書かれたり「志」と書かれる方がいますが必ず「御布施」とお書き下さい。そしてお彼岸、お盆、永代経、報恩講等の法要にお気持ちをお寺に納める時は「志」「志納」と書くのが良いと思います。合掌



知人の葬儀や法事にお参りする時

葬儀、法事で僧侶に包まれる時

寺の法要でお気持ちを納める時  
水引はいりません。

## 婦人会の一員になりました

本弘寺さんとの御縁は、義父が昭和38年に亡くなり義母が相模原に住んでおりお墓参りの折に坊守さんと知り合いました。客殿に上げていただきお茶をいただいたことが懐かしく思い出され、すると義母のことまで思い出されるのです。

お寺に行きますと坊守さんの暖かく親切なお気持ちが今でも伝わってきます。住職様には娘の件で悩んでおりましたが、西川のお墓に入れていただき有り難く思っております。ご恩は一生忘れません。



長い年月、雨の日、嵐の日もあり婦人会の人達がお茶接待と仏花売りに奉仕されるのを見るに付けいつも感謝しておりました。婦人会に入会させていただきましたので、これからはご住職様のご法話を楽しく聴聞させていただきながら、婦人会の方達と仲良くお付き合いをさせていただきたいと思っておりますので末永くよろしく願いいたします。合掌 西川チヨ

婦人会にこの度、仏法聴聞の道を私たちといっしょに歩んで下さるお仲間ができました。嬉しい限りです。これからは一席でも多く聴聞に勤しみ、仏法の喜びをいただき、仏法の喜びを持ってお浄土にまいらせていただきたいと思います。合掌 K. M

## 親鸞様の娘さん覚信尼様と親鸞様の詩をご紹介します

### 覚信尼様の詩

きくときわ  
さこそ さこそと  
思えども  
その場去れば  
跡形もなし

### 親鸞様の詩

今きいて  
すぐに忘るる  
身なれども  
ただおたすけのみ  
のこるべし  
ナンマンダ佛  
ナンマンダ佛



※婦人会ではいつでも会員募集いたしております。1人でも多くの方の入会をお待ちいたしております！